

大在・坂ノ市地区で新成人を祝う集い



「成人の日」にちなんで1月12日、大分市の大在公民館と坂ノ市公民館で20歳を祝う集いが開催され、会場は晴れ着姿の若者たちの笑顔でいっぱいだった。

それぞれ地元中学校の2019年度卒業生や同学年に在籍していた人、当時の担任教師、来賓、父母らが参加。同年度の卒業生でつくる実行委員会が企画・運営をした。

「おおざい二十歳の集い」には、大在中の卒業生ら新成人約120人が参加。実行委員長の馬原琉生さん(20)=学生=が「きょうは、この大在で共に過ごした仲間と懐かしい思い出を振り返りたい」とあいさつ。大在地区の各種団体の代表や中学校時代の恩師らが祝いや期待の言葉を述べた。

この後、お楽しみ抽選会や歌ったり、おしゃべりをしたりして楽しいひと時を過ごした。最後に全員そろってカメラの前でにっこり。

「坂ノ市20歳のつどい」は、坂ノ市中の卒業生ら新成人約90人が参加。実行委員長の山内萌乃(ほの)さん(20)=学生=が「コロナ禍で卒業式ができず、中庭に向かって最後の合唱をしたのを今も鮮明に覚えている。多くの人の支えに感謝し、夢や希望に向かって励まし合い、共に未来を切り開いていこう」とあいさつ。「先輩からの応援ソング」では、同市在住のシンガー・ソングライター、マイサテさんがギターの弾き語りで演奏。恩師も歌で新たな門出を応援した。恩師や実行委ら5人が登壇し、中学時代の思い出や抱負を語り合う「20歳のディスカッション」などもあった。

坂ノ市20歳のつどい